

Curriculum 2026年度(予定) 変更になる場合があります

卒業に必要な単位:124単位
専門教育科目:78単位
全学共通科目:24単位
広域選択:22単位
必修:40単位
選択必修:28単位
選択:10単位

	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次
成長のプロセス	国語学、古典文学、近現代文学、漢文学の基礎知識を学ぶとともに、主体的に研究していくための方法論を学ぶ。	演習科目における調査・発表・討論を通して論理的思考を養い、また専門科目によって幅広い知識を得る。	演習科目を通じて研究・調査方法を発展させるとともに、さらに多くの専門科目を受講し、専門的知識を得る。	1～3年次の講義・演習で修得した調査・研究方法や専門的知識を駆使し、卒業論文を作成する。
必修	- 日本語文法入門① - 基礎国語学 - 基礎国文学Ⅰ・Ⅱ② - 基礎漢文学	国語国文学演習Ⅰ	国語国文学演習Ⅱ	- 国語国文学演習Ⅲ - 卒業論文
選択必修		- 国語史 - 国語学史 - 国文学史ⅠA(古典) - 国文学史ⅠB(古典) どちらか1科目を選択します。 - 国文学史ⅡA(近現代) - 国文学史ⅡB(近現代) - 国文学史ⅡC(近現代) この中から1科目を選択します。 - 中古文学研究Ⅰ・Ⅱ - 中世文学研究Ⅰ・Ⅱ - 近世文学研究Ⅰ・Ⅱ - 近代文学研究Ⅰ・Ⅱ③ - 漢文学研究Ⅰ・Ⅱ - 国語学特講Ⅰ・Ⅱ - 国文学特講Ⅰ～ⅩⅠ④ - 漢文学特講Ⅰ・Ⅱ この中からそれぞれ2科目を選択します。		
選択	専門導入セミナー	- 比較文学 - 児童文学⑤ - 有職故実 - 日本民俗学 - 民間信仰論 - 日本史概説 - 日本文化史 - 東洋思想史	- 西洋思想史 - 美術史概説 - 演劇概論 - 書道概論	- 書道史 - 書道実習Ⅰ - 書道実習Ⅱ - 編集実務⑥

① 日本語文法入門

高校までに学習する文法を改めて講義します。奈良・江戸時代までの作品や資料を読みながら、それぞれの特徴や変遷をたどり、日本語、特に古典表現の仕組みを理解していきます。

④ 国文学特講

それぞれの講義で異なるテーマを扱い、深く掘り下げます。能、歌舞伎、和歌、さらには現代小説に創作実践など幅広いテーマから選択でき、専門性を深めていきます。

② 基礎国文学Ⅰ

古典文学を解説する基礎的な力を養います。扱うのは、著名な和歌や物語など。書かれている内容だけでなく、作者や時代といった背景も含めて読み解くことで、理解度を深めていきます。

⑤ 児童文学

古今の児童文学作品を読みながら、その面白さや奥深さを知る講義です。作者のバックグラウンドや映像化作品、パロディなども扱いながら、文学作品の深い味わい方を習得します。

③ 近代文学研究Ⅰ

夏目漱石の『こころ』を出発点に、ホモソーシャル、つまり、友情やライバル関係も含めた同性間の社会的絆について考察。現代小説や映画なども見ながら、理解を深めていきます。

⑥ 編集実務

30～50ページの雑誌を1年かけて作成します。無から有を作り出す編集に関して、その技術や考え方を総合的に身につけます。編集現場を体感するため出版社の見学を予定しています。



湯崎野 彩果さん
国文学科 3年
中央学院高等学校 出身

Message

古典文法や構造から、パズルのように訳を導き出す面白さ

高校時代は数学が好きで文系理系どちらに進むか決めかねていました。古典の授業の中で、構造的に文章を読み、理解していく方法を教わり、物語の内容というよりは古典文法や構造に興味を持ち、大学でもっと古典を研究したいと思いました。文法を解釈することで訳が導き出されるのがパズルのようでとても面白いです。ゼミでは、『万葉集』を中心に学生それぞれが好きな歌を選んでレジュメを作り発表、質疑応答しています。本の

注釈書を読むのとは違い、思いもよらないような解釈が聞け、自分にはない視点に気づくことができます。駒澤大学は幅広い専門分野の先生が在籍しているので、近代・現代、古典や漢文、国語学など選択必修科目の選択肢が多いところが魅力です。私は古典を専門としていますが、幅広く学ぶことは自分にとってプラスになりますし、様々な時代の作品・ジャンルの中から、自分がより興味を持てる分野に出会う過程も楽しいです。

1 Week Schedule

[2 年 次] 後期

	Mon.	Tue.	Wed.	Thu.	Fri.	Sat.
1		教育制度・環境論	教育課程論	国語国文学演習Ⅰ		日本文学を学ぶ(4)
2		国文学史ⅡB(近現代)	学習・発達論		ICTリテラシー	国語史
3		国文学特講Ⅰ	国文学史ⅠB(古典)	英語ⅡBb	国文学特講Ⅴ	
4			児童文学	学校経営と学校図書館	近代文学研究Ⅰ	
5			国文学史ⅡA(近現代)		英語ⅡAb	
6						

■:教職課程